

2025 年度 学校関係者評価委員会 報告書

日 時：2026 年 5 月 25 日(月) 12 時 15 分～12 時 55 分

場 所：日本体育大学医療専門学校 会議室

学校関係者

- ・難波 英樹 委員 難波接骨院院長 同窓会長
- ・蓮沼 鉄也 委員 はすぬま整骨院院長
- ・湯山 徳行 委員 歯学博士
- ・長谷川 博雅 委員 歯学博士

学校

- ・伊藤 譲 学校長
- ・吉田 裕輝 教頭心得
- ・園部 英貴 整復健康学科長
- ・小川 磨美 口腔健康学科長
- ・落合 清高 事務長
- ・片瀬 みゆき 職員（記録係）

学校側から現状や取り組みについて報告があり、学校関係者より意見や要望があった。

1. 学校からの報告

本校は創立 54 年目、口腔健康学科は設立 9 年目である。

整復健康学科長と口腔健康学科長から各学科の学生数と退学者数、進路や就職状況に関しての報告がなされた。事務からは 2027 年度からの定員変更について、法人全体の方針で大学の定員を増やすための措置であることと、定員減少による収益減については、大学側から補填が行われる予定（補填額は調整中）の報告がなされた。

2. 学校関係者からの意見等

- ・自己点検評価報告書の改善について、抽象表現などを避け、責任者による最終チェックを導入する。
- ・モチベーションが上がらず退学を悩んでいる学生に対し、「辞める前に一度現場（接骨院等）を見せる」というアプローチが有効である。過去に本校の学生が現場見学を機に退学を踏みとどまった事例もあり、早期面談と連動した現場見学の機会提供は脱落防止に繋がると考えられる。
- ・一方的な受け身の授業では学生が飽きてしまうため、自ら考えて取り組む課題を導入すべきである。
- ・実際の症例の画像や動画を見る機会を増やすべきである。

以上